

西武百貨店 03年2月期 決算ステートメント

- 当社の今期決算は、2月26日にお取引先金融機関様のご同意を得て成立した、「私的整理に関するガイドラインに基づく再建計画」が前提になっております。
- 当計画は、事業の再構築と共に財務構造を改善していくことで、既存の収益力及びそごうとのアライアンス等の強みを経営資源に集中し、一層の収益体質強化と企業価値の拡大を目指すものであります。
- 以下、決算に関わる主なポイントについて、再建計画との関わりを含めて報告させていただきます。

再建計画で見込んだ引当も予定通りです。

- 02年度の売上高は、5,393億円と前年比96.5%。
営業利益高は、97億円・前年比76.5%・計画比102.5%。
経常利益は50億円・前年比76.1%・計画比99.7%です。以上前年割れという結果ですが、数値はほぼ再建計画で見込んでいた通りです。
- 特別利益104億円と特別損失2,491億円を計上し、税引前当期損失は2,337億円となりました。また、法人税等調整額140億円を取崩した結果、当期損失は2,478億円となりました。

ここで事業リストラに基づく特別損失の内容についてご説明を加えておきます。

- 関係会社は24社中10社を清算し、4社の売却を計画しておりますが、02年度は2,074億円の清算損失引当を中心に損失を計上いたしました。(03年度は、セゾンネットワーク・エスアンドエー・セゾンコーポレーション・大沢商会・エフ・エルビス・ポロ計7社を清算し、残る3社も今後清算を予定しております。又、その他リパティジャパンとファブリカの2社は既に売却済みであり、残る2社も順次売却を予定してまいります。)
- 株式などの非営業資産は、約150億円の損失を計上いたしました。上場有価証券の評価損90億円などが主なものです。
- 不採算店舗は、当期02年9月につかしんを業態転換し、12月には高知・宇都宮西武を閉店いたしました。尚、本年度は8月をめぐり、函館・仙台・川崎・豊橋の4店舗の閉鎖を予定しておりますが、02年度は引当金も含めて約100億円の損失を計上いたしました。
- 人員整理は、02年8月転進支援特別措置により550名、03年2月の希望退職には1,084名と、03年2月末では本社員数は3,331名(前年期末差1,977人)となりました。この結果、02年度は140億円の損失を計上しました。(退職金約80億円と退職給付費用の処理で約60億円)
- 結果02年度は企業再生損失引当金2,190億円を含めて、2,491億円の特別損失を計上しました。

損失処理に伴う金融支援と資本増強について

- 損失処理にあたっては、自助努力に加え、クレディセゾングループ様等・お取引金融機関様による金融支援と株主様の減資が柱になっています。
02年度決算における債務超過額に対しては、債務免除益2,202億円と減資益84億円が充当され、5月下旬の定時株主総会決議後に資本準備金取り崩し益30億円も充当される予定です。
- 併せて、資本増強の必要として、第三者割当増資100億円と債務の株式化98億円を実施しました。

第三者割当増資（100億円）は、新普通株式 50,000,000 株（1 株 200 円）の引受をお願いしました。

1) 第三者割当増資(100億円)の割当先シェア

株式会社十合 50.00%、西武百貨店再生ファンド 16.00%、DBJ 事業再生投資組合 16.00%、西武鉄道株式会社 10.00%、伊藤忠商事株式会社 7.00%、株式会社 NTT データ 1.00%

2) 新資本構成（増資後発行済株式数シェア）

株式会社十合 43.58%、西武百貨店再生ファンド 13.95%、DBJ 事業再生投資組合 13.95%、西武鉄道株式会社 8.73%、伊藤忠商事株式会社 7.24%、クレディセゾングループ 4.26%、株式会社西友 3.89%、株式会社 NTT データ 1.18% 他）

債務の株式化（98億円）は、完全無議決権優先株式 9,772,000 株（1 株 1,000 円）を発行し、クレディセゾングループ様をお願いしました。

2003 年 5 月時点では、債務免除と増資により資本合計は、約 100 億円となります。

04 年 2 月期について

- 私共は、お取引金融機関様、株主様のご支援にお応えすべく着実に再建計画の目標必達に向けて諸施策を実行してまいります。とりわけ、財務基盤の早期健全化 BEP（損益分岐点比率）の引き下げによる収益改善 そごうグループとのアライアンス体制の強化を柱として全社一丸となって取組んでまいります。

以上